

# Procrea Digest

プロクレアダイジェスト

2024年9月期 ミニディスクロージャー誌

(2024年4月1日~2024年9月30日)



プロクレアホールディングス

きんしゅうとがくしもみじがり  
【錦織戸隠紅葉狩】(2024年)  
ねぶた制作：野村 昂史



挑む。超える。ともに創る。

## プロクレアホールディングス

### プロフィール (2024年9月30日現在)

商号	株式会社プロクレアホールディングス (英文名称: Procrea Holdings, Inc.)
設立日	2022年4月1日
本店所在地	青森県青森市勝田一丁目3番1号
主な本社機能	青森県青森市橋本一丁目9番30号
事業内容	・銀行および銀行法により子会社とすることができる会社の経営管理及びこれに付帯関連する一切の業務 ・その他、銀行法により銀行持株会社が行うことができる業務
資本金	200億円
営業店舗数	195 ※支店内支店(1つの店舗内で複数の支店が営業する拠点)、ローン専門拠点、その他事務所を含む。
決算期	3月31日
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場 (証券コード:7384)

## Contents

ごあいさつ	1
プロクレアホールディングスの概要	2
第1次中期経営計画基本戦略	3
サステナビリティ方針とマテリアリティ	4
サステナビリティに関する取り組み	5~6
業績ハイライト(2行合算)	7~8
連結財務諸表	9
株主情報	10

## ごあいさつ



取締役社長 城田 晋

皆さまには日頃より格別なお引き立てを賜り、まことにありがとうございます。  
「2024年度9月期ミニディスクロージャー誌 プロクレアダイジェスト」をお届けいたします。どうかご一読いただき、私たちプロクレアグループへのご理解を一層深めていただければ幸いです。

2025年1月、「青森みちのく銀行」の誕生が、いよいよ目前に迫ってまいりました。

現在、両行役職員は、「青森みちのく銀行」の誕生という最重要プロジェクトを完遂するべく一体感を高め、総力を挙げて準備作業に取り組んでおります。

同時に私たちは、「両行合併・新銀行誕生がゴールでは決してなく、むしろ新たなスタートである」ということをしっかりと認識しなくてはならないと考えております。

私たちのふるさと青森県は、急速な人口減少や高齢化、大幅な若年層の県外流出等の課題に直面しております。青森銀行とみちのく銀行は、「地域とともに成長していく」という両行共通の熱い想いを持続的に具現化していくためのベストな選択として2022年4月に経営統合を実現したうえで、ここまで両行合併を進めてまいりました。

プロクレアグループの使命は、地域課題の解決に貢献し地域の持続可能性を高めることにあります。

私たちは、「地域の未来を創る」「お客さまと歩み続ける」「一人ひとりの想いを実現する」というグループ経営理念のもと、両行合併の効果を地域の発展や産業育成等の強化分野に振り向けなければなりません。青森みちのく銀行を中核としてグループ各社の力を結集し、これまで以上に地域経済の維持拡大ならびに地域の魅力向上に取り組むことで、ステークホルダーの皆さまのご期待に一層高い水準でお応えしてまいります。

私たちプロクレアグループのこれからの新しい取り組みにご期待いただくとともに、今後ともより一層のご支援とお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

# プロクレアホールディングスの概要

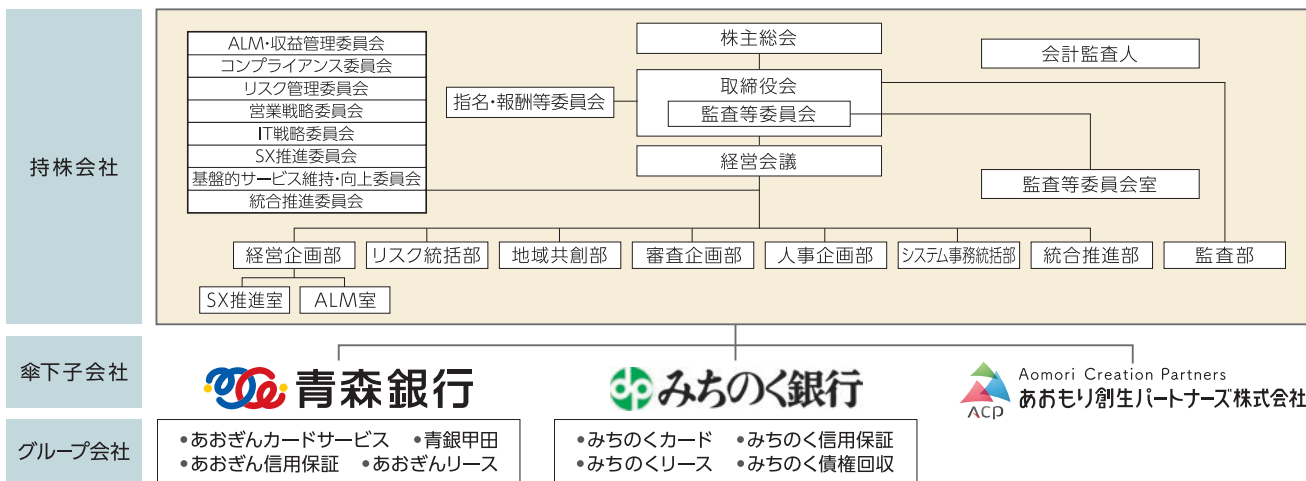
## 経営理念

「地域の未来を創る」  
 「お客さまと歩み続ける」  
 「一人ひとりの想いを実現する」

## 理念に込めた想い

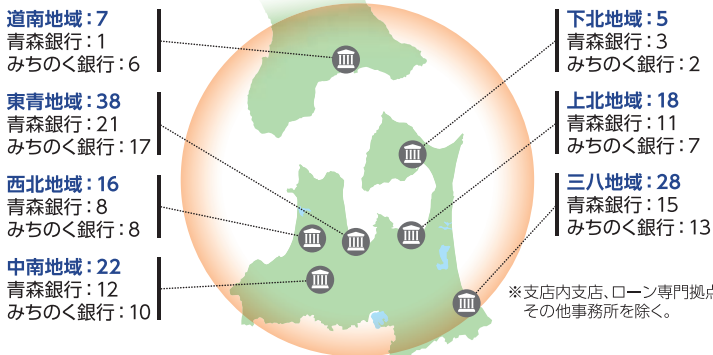
- ◆ 私たちは、健全性を堅持するとともに、地域の課題や可能性に積極的に挑戦することで、明るく豊かな未来を創ります。
- ◆ 私たちは、専門性を高めるとともに、期待を超えるサービスを追求することで、お客さまの信頼に応え、成長と発展に向けてともに歩み続けます。
- ◆ 私たちは、自主性を尊重するとともに、多様な個性を力に変えることで、自信と誇りに満ちたやりがいのある組織を築き、一人ひとりの溢れる想いを実現します。

## 組織図 (2024年9月30日現在)



## 主要拠点 (2024年9月30日現在)

青森県内から道南地域にかけて強い基盤を有しております。



## 拠点数 (2024年9月30日現在)

都道県	青森銀行	みちのく銀行	両行計
青森県	70	57	127
東青地域	21	17	38
中南地域	12	10	22
三八地域	15	13	28
西北地域	8	8	16
上北地域	11	7	18
下北地域	3	2	5
北海道	2	7	9
岩手県	1	2	3
宮城県	1	1	2
秋田県	2	2	4
東京都	1	1	2
合計	77	70	147

# 第1次中期経営計画基本戦略

プロクレアホールディングス第1次中期経営計画

## 『挑戦と創造』

スローガン シナジーを早期に実現し、強固な経営基盤を構築する

経営  
課題

金融サービスの  
安定性と質の両立

地域産業の発展  
地域住民の生活の向上

健全かつ持続的な  
経営基盤の構築

基本  
戦略

基本戦略Ⅰ

金融仲介機能の強化

- ① 伴走型コンサルティングの強化
- ② 金融サービス・ソリューションの強化
- ③ 専門性の多角化と深化
- ④ サービスのデジタル化

基本戦略Ⅱ

事業領域の拡大

- ⑤ 地域共創・総合商社モデルの構築

基本戦略Ⅲ

経営の合理化・効率化

- ⑥ インフラ等の効率化
- ⑦ 業務のデジタル化
- ⑧ 組織体制の効率化

基本戦略Ⅳ

グループ基盤の強化

- ⑨ 人材力の強化
- ⑩ 有価証券運用力の強化
- ⑪ リスク管理態勢の強化
- ⑫ ガバナンス体制の強化
- ⑬ その他サステナビリティ等の取り組み強化



# サステナビリティ方針とマテリアリティ

## ■ サステナビリティ方針

気候変動・脱炭素の問題をはじめ、健康や相対的貧困、ダイバーシティ&インクルージョン等、「サステナビリティ」への関心は高まる一方です。当方針は、そのような環境下、持続可能な社会の実現に向けたプロクレアホールディングスとしての今後の取り組みの方向性を内外に示すものとして位置付けております。

「プロクレアホールディングス サステナビリティ方針」

## 彩り豊かな未来を、次の世代に

私たちは、愛する“ふるさと”を美しいまま次の世代に受け継いでいくため、彩り豊かな未来の創造に向けて挑戦してまいります。地域におけるあらゆる課題や無限の可能性と向き合い、環境、社会、ガバナンスの観点から持続可能な事業活動を通して皆さまとともに歩み続けます。



ステークホルダーとの  
お約束

### 自然・環境

環境保全と調和した地域経済の成長を目指し、気候変動や自然への影響を常に意識しながら事業活動に取り組んでまいります。

### 地域社会

自然資本・人的資本の価値が最大限発揮され、ますます魅力あふれる社会となるよう、皆さまとのコミュニケーションを大切に地域社会の発展に貢献いたします。

### お客さま

お客さまの最良のパートナーとして、社会の変化に対応しながら、常にお客さまに安心かつ最適なソリューションを提供いたします。

### 従業員

役職員一人ひとりが健康で自分らしくいきいきと働き続けられ、多様な活躍ができる会社づくり・組織風土づくりを進めてまいります。

### 株主・投資家

地域の皆さまとともに発展し、すべてのステークホルダーより高い信頼を寄せられる、魅力ある企業であり続けます。

## ■ マテリアリティ

「プロクレアホールディングス サステナビリティ方針」のもと、当社グループと地域の持続的な成長を支援するため重要課題（マテリアリティ）を特定しております。事業活動の基盤である青森県の環境・社会課題を考慮し、当社の経営戦略を通じてマテリアリティの解決に取り組んでまいります。

なお、マテリアリティは外部環境及び取り組みの進捗や事業活動の状況などを踏まえて、定期的に見直しを図ってまいります。

### 【マテリアリティ】

#### 地域経済

地域経済  
活性化の支援

地域資源の  
付加価値向上

#### 自然環境

気候変動・  
脱炭素への対応

自然環境保全への  
貢献

#### 人的資本

自律人材の育成・  
活躍促進

ダイバーシティ&  
インクルージョンの推進

# サステナビリティに関する取り組み

## 青森ねぶた祭に参加 ～大型ねぶたを運行～

2024年8月、プロクレアホールディングスは「プロクレアねぶた実行プロジェクト」として青森ねぶた祭に参加し、大型ねぶた運行を行いました。昨年の初参入に続き、2年目の運行となりました。

「次の世代のために、地域とともに彩り豊かな明るい未来を創造し続けていきたい」という想いのもと、青森銀行、みちのく銀行をはじめ、両行のグループ会社職員やその家族を中心に、5日間でのべ1,800名超が参加し、運行、跳人、囃子方として地域の皆さんとともに祭りを盛り上げました。



## 2024ジョブキッズあおもりの開催

2024年8月、青森銀行本店にて「2024ジョブキッズあおもり」を開催し、11名の小学生の皆さんにご参加いただきました。銀行の見学や仕事体験のほか、楽しみながらSDGsについて学ぶ「SDGs人生ゲーム」を通じて、理想の未来を共創することの大切さを学んでいただきました。



## お客さま向けセミナーの開催

- 2024年8月、株式会社日本M&Aセンター主催、プロクシアホールディングス後援により、企業の経営課題解決のための「事業承継セミナー」および「成長戦略セミナー」を開催しました。
- 2024年9月、両行は、青森・八戸・弘前の3地区において、「サステナブル経営×働き方改革セミナー」を開催しました。社会的関心が高まっているサステナブル経営や働き方改革について、取り組みのポイントや実際の事例等をご紹介します。
- 2024年10月、両行は、野村アセットマネジメント株式会社、株式会社batonと共催で「お金を育てるキャラバン NISAを学ぼう in 青森県」を開催しました。QuizKnock\*のメンバーとクイズやゲームなどを交えながら資産運用について学ぶ内容で、約140名の皆さんにご参加いただきました。

\*QuizKnock(クイズノック)は、東大クイズ王・伊沢拓司氏を中心となって運営する、エンタメと知を融合させたメディア。



## 地域おこし協力隊募集支援事業

あおり創生パートナーズは、地域おこし協力隊募集支援事業を行い、2024年4月には東北町で1名、5月には七戸町で1名の隊員が着任しました。隊員と連携し、グループのネットワークを活用したサポートを行ってまいります。

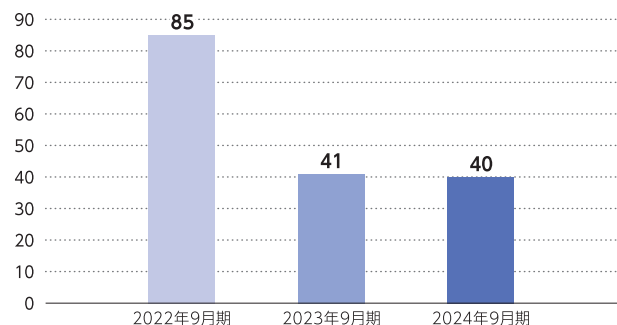


# 業績ハイライト(2行合算)

## コア業務純益の状況

コア業務純益は、資金利益は増加したものの、役務利益の減少や経費の増加等により、前年同期比1億円減益の40億円となりました。

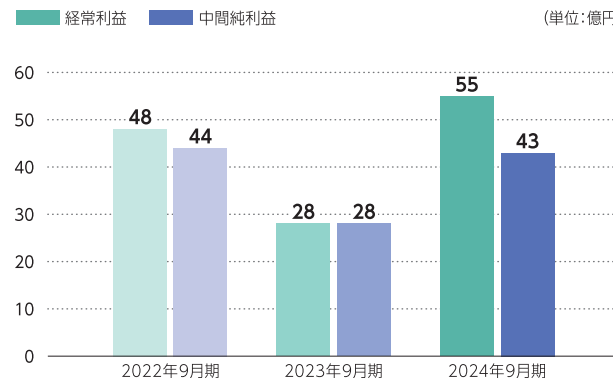
(単位:億円)



## 経常利益・中間純利益の状況

経常利益は、与信費用の減少や有価証券関係損益の増加等により、前年同期比26億円増益の55億円となりました。また、中間純利益についても、前年同期比14億円増益の43億円となりました。

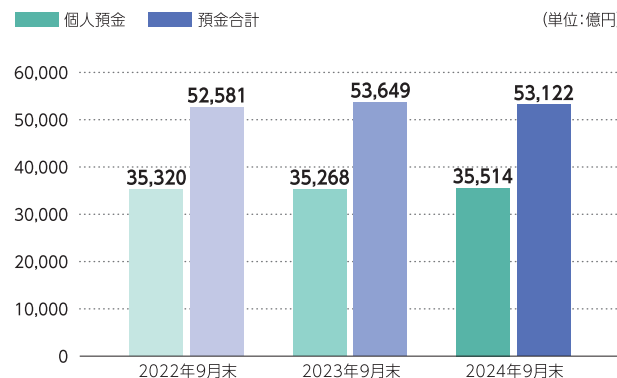
(単位:億円)



## 預金(譲渡性預金を含む)の状況

2024年9月末の譲渡性預金を含む総預金は、法人預金の減少により、前年同期末比526億円減少の5兆3,122億円となりました。

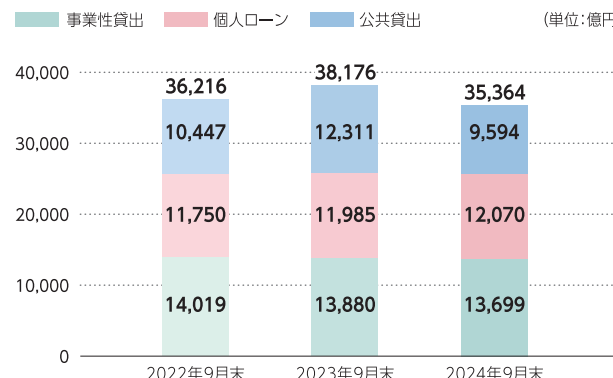
(単位:億円)



## 貸出金の状況

2024年9月末の貸出金は、事業性貸出及び公共貸出の減少により、前年同期末比2,812億円減少の3兆5,364億円となりました。

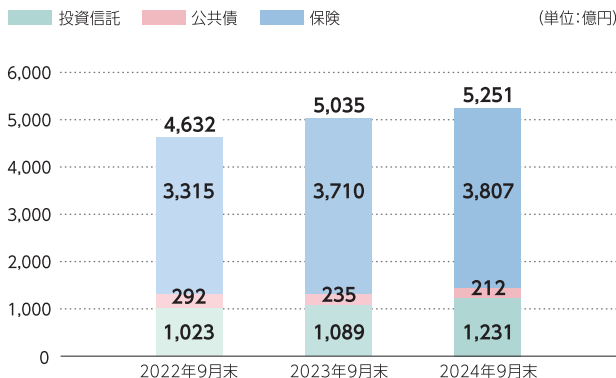
(単位:億円)





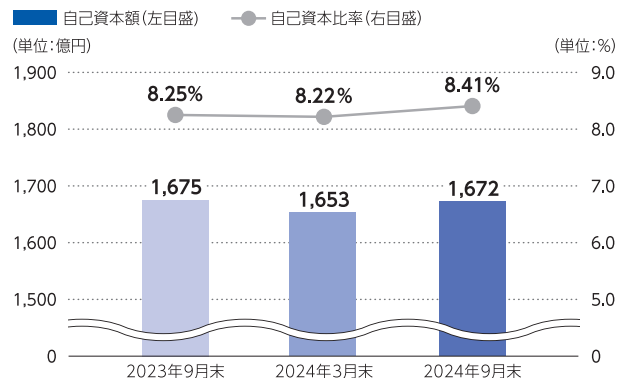
## 預かり資産の状況

2024年9月末の預かり資産残高は、公共債は減少したものの投資信託や保険が増加したことから、前年同期末比216億円増加の5,251億円となりました。



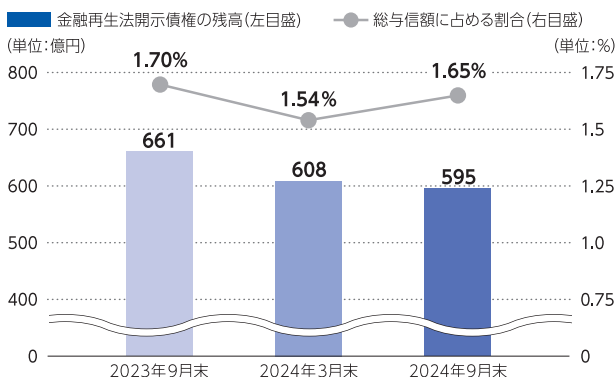
## 自己資本比率の状況(プロクレアHD連結)

2024年9月末の連結自己資本比率は、利益の積み上げにより自己資本額が増加し、リスク・アセットも減少したことから、前年度末比0.19%上昇の8.41%となりました。引き続き国内水準である4%を大きく上回る水準を確保しております。



## 金融再生法開示債権の状況

2024年9月末の金融再生法開示債権は、危険債権の減少により、前年度末比12億円減少の595億円となりました。一方、与信総額に占める開示債権の比率については前年度末比0.11%上昇し1.65%となりました。



### 用語解説

#### ■ コア業務純益

預金・貸出・為替業務など銀行の本来業務から得られる収益力を示しています。

#### ■ 経常利益

コア業務純益に有価証券関係損益や与信費用(不良債権処理に関する費用など)を加減した利益です。

#### ■ 中間純利益

経常純益に特別利益や税金などを加減した最終的な利益です。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

# 連結財務諸表

## 第3期 中間連結貸借対照表 (2024年9月30日現在)

(単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
現金預け金	1,225,663	預金	4,987,925
買入金銭債権	4,695	譲渡性預金	305,407
金銭の信託	2,000	コールマネー及び売渡手形	3,021
有価証券	1,075,136	借入金	420,034
貸出金	3,494,419	外国為替	28
外国為替	3,783	その他負債	53,358
リース債権及びリース投資資産	33,373	賞与引当金	1,330
その他資産	64,355	役員賞与引当金	14
有形固定資産	30,230	退職給付に係る負債	136
無形固定資産	8,687	役員退職慰労引当金	5
退職給付に係る資産	8,230	株式給付引当金	410
繰延税金資産	11,002	睡眠預金払戻損失引当金	163
支払承諾見返	22,511	再評価に係る繰延税金負債	1,390
貸倒引当金	△ 20,113	支払承諾	22,511
投資損失引当金	△ 88	<b>負債の部合計</b>	<b>5,795,739</b>
		<b>(純資産の部)</b>	
		資本金	20,000
		資本剰余金	28,151
		利益剰余金	127,227
		自己株式	△ 591
		<b>株主資本合計</b>	<b>174,786</b>
		その他有価証券評価差額金	△ 10,371
		繰延ヘッジ損益	376
		土地再評価差額金	2,260
		退職給付に係る調整累計額	1,097
		その他の包括利益累計額合計	△ 6,636
		<b>純資産の部合計</b>	<b>168,150</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>5,963,890</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>5,963,890</b>

## 第3期 中間連結損益計算書 (2024年4月1日から2024年9月30日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
<b>経常収益</b>	<b>38,208</b>
資金運用収益	21,922
(うち貸出金利息)	(17,676)
(うち有価証券利息配当金)	( 2,888)
役員取引等収益	6,616
その他業務収益	116
その他経常収益	9,553
<b>経常費用</b>	<b>33,154</b>
資金調達費用	920
(うち預金利息)	( 645)
役員取引等費用	3,288
その他業務費用	632
営業経費	21,247
その他経常費用	7,065
<b>経常利益</b>	<b>5,053</b>
特別利益	9
特別損失	147
<b>税金等調整前中間純利益</b>	<b>4,915</b>
法人税、住民税及び事業税	1,208
法人税等調整額	△ 14
<b>法人税等合計</b>	<b>1,193</b>
<b>中間純利益</b>	<b>3,722</b>
<b>親会社株主に帰属する中間純利益</b>	<b>3,722</b>

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

## 中間連結財務諸表の作成方針

子会社、子法人等の定義は、銀行法第2条第8項及び銀行法施行令第4条の2に基づいています。

### 1 連結の範囲に関する事項

- (1) 連結される子会社及び子法人等 11社
- 株式会社青森銀行 ●株式会社みちのく銀行 ●あおもり創生パートナーズ株式会社
  - 青銀甲田株式会社 ●あおぎんカードサービス株式会社 ●あおぎんリース株式会社
  - あおぎん信用保証株式会社 ●みちのくリース株式会社 ●みちのく信用保証株式会社
  - みちのくカード株式会社 ●みちのく債権回収株式会社

- (2) 非連結の子会社及び子法人等 2社

- みちのく地域活性化投資事業有限責任組合 ●プロクレアHD地域共創ファンド投資事業有限責任組合

### 2 持分法の適用に関する事項

- 持分法非適用の非連結の子会社及び子法人等 2社
- みちのく地域活性化投資事業有限責任組合
  - プロクレアHD地域共創ファンド投資事業有限責任組合
- 持分法非適用の関連法人等 1社
- プロクレアまちづくりファンド有限責任事業組合

### 3 連結される子会社及び子法人等の中間決算日に関する事項

- 連結される子会社及び子法人等の中間決算日は次のとおりです。  
9月末日 11社

## 株式の情報

(2024年9月30日現在)

### 株式の状況

発行可能株式総数 60,000千株

発行済株式の総数 28,658千株

株主数 42,663名

### 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,696	9.42%
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	1,356	4.74%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,308	4.57%
明治安田生命保険相互会社	502	1.75%
日本生命保険相互会社	478	1.67%
青森銀行職員持株会	395	1.38%
JP MORGAN CHASE BANK 385781	353	1.23%
住友生命保険相互会社	338	1.18%
損害保険ジャパン株式会社	283	0.99%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	270	0.94%

※持株数は、千株未満を切り捨てて表示しています。  
※持株比率は、自己株式を控除のうえ算出しています。

## 株主優待制度

■青森県を中心とした地元の特産品等を掲載したカタログより、毎年3月31日現在の保有株式数に応じて、年1回お好みの優待品をお選びいただけます。

保有株式数	保有期間	優待品の金額
100株以上1,000株未満	1年以上継続保有 <sup>※</sup>	3,000円相当
1,000株以上	1年以上継続保有 <sup>※</sup>	6,000円相当

※1年以上継続保有とは、「当年3月末日現在の株主名簿に記載、または記録され、かつ同一株主番号で前年の3月末日および9月末日の株主名簿に記載、または記録されていること」といたします。

## 株式のご案内

(2024年9月30日現在)

### 事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日までの1年です。

### 定時株主総会

毎事業年度終了の翌日から3ヵ月以内に開催します。

### 基準日

定時株主総会については、毎年3月31日とします。  
その他必要があるときは、あらかじめ公告します。

### 配当金

期末配当金は、株主総会の決議によって、毎年3月31日の最終の株主名簿に記載された株主または登録株式質権者に対し、株主総会終了後お支払いします。

中間配当金は、取締役会の決議によって、毎年9月30日の最終の株主名簿に記載された株主または登録株式質権者に対し、お支払いします。

### 単元株式数

当社の単元株式数は100株です。

### 公告方法

電子公告とします。なお、電子公告は当社ウェブサイト(<https://www.procrea-hd.co.jp/>)に掲載します。

### 株主名簿管理人

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社

●株主名簿管理人事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

●郵便物送付先および電話照会先

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-232-711(フリーダイヤル)

### 株式取扱手数料

株式取扱規程に定める手数料を申し受けます。



## ▼ プロクレアホールディングス

発行／株式会社プロクレアホールディングス 経営企画部

〒030-0823 青森県青森市橋本一丁目9番30号(本社) TEL 017-777-5111

URL <https://www.procrea-hd.co.jp> メールアドレス [kouhou@procrea-hd.co.jp](mailto:kouhou@procrea-hd.co.jp)

(この小冊子は、商品勧誘を目的とするものではありません。)

※ 森林認証を受けた「環境にやさしい」用紙を使用しています。